

幸報ふじ

発行：佐賀市富士支所
編集：幸報ふじ事務局
(一般財団法人スマイルアース)
TEL：0952-57-2341
FAX：0952-57-2217
hoonoki@smile-e.org
住所：富士町藤瀬724-4

たくさんの夢中になれることを、俳句の糧にして…

幸報ふじに毎回すてきな俳句をお寄せいただいている木原昭芳さんに、お会いしてきました。



木原昭芳さん(上熊川地区)昭和20年生まれ

木原さんのお宅に伺ったのは、ちょうどお庭のしゃくなげが花盛りの頃でした。あっちを向いても、こっちを向いてもしゃくなげの花。おうちの中に入ると、両側が広くガラス窓になっていて、美しいお庭をパノラマのように見ることができました。近所のお宅のしゃくなげもきれいに咲いていましたよ。本当に贅沢な眺めでした。

「この季節、富士町のいたるところが《しゃくなげの里》になります」と木原さん。木原さんは、富士小学校やフオ

レストアふじで、俳句の先生として活躍されています。木原さんと俳句の出会いが高校生のとき。学校で俳句を習ったのを機に、自分でも作ってみようと思いが立ちます。そして、西日本新聞に投句したところ、掲載されうれしくて投句を続けるようになりました。

四十代の終わりに大きな病気をするまで、木原さんはペンネームで投句していました。本名で出さなかったのは、「自分の内面が見られるようで、恥ずかしかった」から。けれども、病気をしてから「自分のことを自分のこととして語れるようになった。親からもらった名前で、何かを残したいというのもあったのかもしれない」

平成9年には、人間探求派の俳人、石田波郷の創刊した「鶴」の俳句会に入会しました。現在も「鶴」の同人として、日々、俳句と向き合っています。日記は書いたことがないけれど、日記の代わりに句を作るのだそう。木原さんは、以前から子どもたちに俳句を教えたいという想いを抱いていました。

「俳句には季語がある。季語があるということは、季節の移ろいを感じて作るということ。」

せっかく自然豊かな富士町に住んでいる子どもたちに、季節を感じてほしかった」



これまでに、木原さんから指導を受けたたくさんの子もたちが、佐賀県文学賞の冊子に掲載されました。ちどりの湯からのご支援で、子どもたち全員の句をまとめた句集『小鳥の声』の発行も2号目となりました。

「子どもたちの俳句は、おもしろいですよ。俳句は本来、優秀をつけるものではない。子どもたちが、背伸びすることなく、気持ち素直に表現した、その子らしい句を詠むということが大事」

木原さんは、俳句だけでなく、たくさんのお趣味をお持ちです。植木、囲碁、富士町混声合唱団でのコーラス、ハーモニカ…。

「いろいろ好きなことがあって、しだしたらすぐに熱中する。そがんにしていろいろすると、楽しかもね」

あんまり熱中し過ぎて、日記代わりに作っている俳句が、一句もできないことさえあるそうです。

お庭のしゃくなげは、お父様と種を取って、蒔いて、苗を作っ

父の遺作 上棕櫚の葉の蠅叩

一本残ったシロの葉のハエタタキ、今夏も使っています。

たもの。鉢植えだと大きくならなかったが、地に植えたら大きく育ったそうです。「花が好きだ」とおっしゃる通り、鉢植えの数がものすごい。所狭しと並んでいます。小さな鉢に、かわいらしい山野草もたくさんありました。エビネや皐月に熱中したこともあったそう。



ハーモニカは始めて10年。

姉川又泰さんとA&Kというコンビを組み、ボランティアも行っていきます。中学校で一学年上だった姉川さんとは、ハーモニカ教室で、中学以来初めて再会したのだそうです。ハーモニカは思いのほかむずかしく、「もっと上手になりたい!」と木原さん。

「俳句を作るためには、いろんなことを知っておいた方がいい。だから、あれかじったり、これかじったりするのも、ためになるんですよ(笑)」

これまでに新聞や雑誌に掲載された木原さんの俳句は、二千句を超えました。これから、木原さんはいろいろなことに夢

中になって、その結果、句作のほうもますます磨かれていくのにちがいないですね(楽しいことに没頭している間は、句作のことも忘れてしまいうほど、夢中になってしまいうということですが…)。

(記事 恵良五月)



バレーボールおよびソフトバレーボールの教室開催について

バレーボールをとおしてスポーツの楽しさを伝えたい

●期日

◎バレーボール

6月5・11月
第2・第4週の(火)

◎ソフトバレーボール

6月5・11月
第2・第4週の(木)

●場所 富士校中学部体育館

●時間 20時～22時
(時間厳守ではない)

●対象 町内の男女
(中学生以上)

・興味あればジュニア可)

●参加料 無料

●問い合わせ・申し込み
富士公民館

体育協会事務局
58-3588

総合案内センターほおのき
57-2341 小副川

ふれあいの一む 6・7月の予定

あちゃんまで誰でも使える場所です。季節に合わせて、ミニコンサート・食育講座・おはなし会・バス遠足など、楽しい催しがいっぱい。たくさんの出会いを大切に、みんなのふれあいの場所、それがふれあいの一むです。 ※ 問い合わせ：佐賀市社会福祉協議会 富士支所 TEL 58-2311

★ 6月の予定 ★

- 2日(金) ぐんぐんキッズ (お外で遊ぼう -おままごとであそぼう-)
- 7日(水) わらべうたサロン (タッチケア&デコカレンダー作り)
- 9日(金) ぐんぐんキッズ (バス遠足 -古民家de梅仕事- 参加費300円)
- 13日(火) のびのびタイム (親子でリズムダンス)
- 16日(金) ぐんぐんキッズ (クッキング-亀屋さんと和菓子教室- 参加費500円)
- 20日(火) ぐんぐんキッズ (写真で七夕モビールを作ろう)
- 23日(金) ぐんぐんキッズ (美文字レッスン)
- 27日(火) かふえタイム (Book Cafe ~野菜の世界~)
- 30日(金) ぐんぐんキッズ (乳幼児救急講習 参加費300円)

★ 7月の予定 ★

- 5日(水) わらべうたサロン (タッチケア&デコカレンダー作り・乳幼児相談)
- 7日(金) ぐんぐんキッズ (クッキング-富士町野菜で七夕会- 参加費300円)
- 11日(火) のびのびタイム (親子でリズムダンス)
- 14日(金) ぐんぐんキッズ (お外で遊ぼう -ちびっ子足湯-)
- 18日(火) ぐんぐんキッズ (Tシャツアート 500円/1枚 ※要予約)
- 21日(金) かふえタイム (Book Cafe ~空の世界~)
- 25日(火) ぐんぐんキッズ (ピアノとフルートの“はじめて遊ぼう音楽会”)
- 28日(金) ぐんぐんキッズ (ミニ夏まつり)

温泉病院だより
5月から注意！熱中症予防・対策

風薫る5月、一年のうちで最も過ごしやすい季節となりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？いよいよ田植えの時期になります。が、これからは、どんどん日差しが強くなり暑い日が続きます。気温が上昇し、毎年ニュースを賑わす「熱中症」の予防・対策が大切になります。平均気温が20度を超えて、暑さを感じる日が増えるこの時期は、体が暑さに慣れていないため、夏ほど気温が高くなっても熱中症に注意が必要です。

特に前日との気温差に注意が必要です。予想最高気温は、もちろん大事な要素ですが、気温が急に上がる日は、熱中症にかかりやすくなります。

- 熱中症の予防・対策として、
 - ・ 小まめな水分補給や休憩を取る
 - ・ 適度な運動をする
 - ・ 運動後にコップ一杯の牛乳を飲むなどタンパク質を摂取し、暑さに強い体をつくるなど、効果的です。

熱中症は、適切な対策を行うことで防ぐことが出来ます。仕事中などは、お互いに声を掛け合って熱中症を予防しましょう。

最後に「おかしい？」と思ったら、涼しい所に避難し、早めに病院で受診して下さい。

● 外来看護師 古瀬 由佳利



佐賀市立富士大和温泉病院
63-0111
ホームページ
http://www.hospitalfj.saga.jp/

富士町古湯映画祭
スタッフ募集！！

映画祭では企画立案から映画祭当日の運営をお手伝いしていただくボランティアスタッフを募集しています。

映画祭当日の運営スタッフのみでも大歓迎！！映画好きの皆さん、一緒に活動してみませんか。

☆業務内容

- ①映画祭の企画立案
ゲスト・上映作品等の検討、ゲスト交渉、スケジュール調整など、映画祭の企画立案等を行います。

平日の夜にスタッフが集まって会議を行います。

②映画祭運営スタッフ

映画祭当日の進行補助・誘導係・受付・会場設営・ゲスト係など、映画祭の運営に携わって頂きます。

③第34回富士町古湯映画祭は

9月16日～18日に開催決定！！

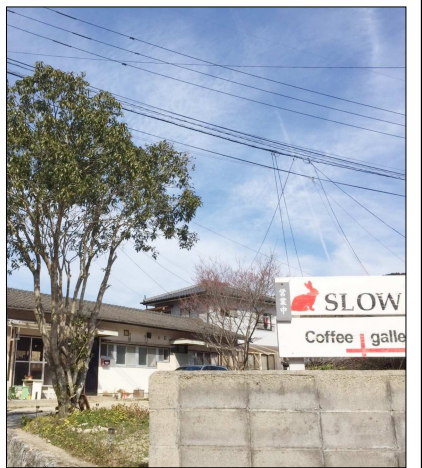
●問い合わせ・申し込み

佐賀市役所富士支所
総務・地域振興グループ
富士町古湯映画祭
実行委員会事務局
58-2111

古湯が
にぎわってきてます♪

前回に引き続き、3店舗をご紹介します。

- 外からの視線を持ち、富士町の魅力を存分に楽しみながら、カフェやギャラリーなどを古湯で展開しているみなさんに、4つの質問に答えてもらいました。
- ①富士町を選んだ理由
- ②富士町の好きな場所・景色
- ③好きな言葉
- ④富士町のみなさんに一言



● SLOW

塚原 誠 (65)



- ①山の中の静かでごんまりした古湯の温泉街が好きでよく訪れて散策していたから。
- ②嘉瀬川の河川敷・小雨の時、SLOWの窓辺から見える霧がかった山の風景
- ③のんびりゆったり♪
- ④本でも持って、のんびりゆったりおしゃべりしに来てください！！

月曜（祝日除く）第1・3火曜日定休
11時～22時



● VILLAGE ANTIQUE

古湯店
山下 善通 (38)



- ①山に囲まれた静かな温泉地に空き家がいっぱいあるの

- はもったいない。何もなしゼロから自分たちで作っていいことだったから。
- ②満月の夜に、旧富士小学校前の橋の中央から川下の方を望む山と川と月の眺め。しゃくなげの里付近で湖面と山と月の景色。
- ③なんとかなるさ。セラ・セラト
- ④宝物探しにぜひどうぞ！！

金・土・日・祝日オープン
11時～18時



● 切子工房

孤遊庵

西野 岩人 (67)



- ①奥様の実家が、都会の喧噪から離れた静かな山の中にあったから。
- ②富士町はどこでも。やませみ、おおか、おしどりなどたくさん鳥たちがどこでも気軽にカメフラ片手に楽しめる。
- ③世の中にまじらんとにはあらねども ひとり遊びぞわれはまされり 良寛
- ④手間暇かけて作った高い完成度の菊繋（きくつなぎ文様）と、世界に一つのうるし切子を見に来てください！

不定休なので
090-5206-9321
に連絡をしたらと確実です。
記事ふれあいるーむ 友岡・村上

※※ 富士町の民話 ※※
爺捨山

むかし。

ある所に、こう親孝行息子のおつたて。

息子は、年取った父親は、爺捨山に捨つたが、どがんとしたっちゃあ嫌やったけん、こっそい納屋の二階に隠しとったて。

ある日、お城から、「灰で縄をなつて来たものは、侍に取り立てる。」と言う、お触れのあつたて。そいぎ、藩中の若か者は、「おいも、いっちょ侍になつてくれんば。」と、一生懸命、灰で縄はなおうでしたばつてん、ないきつ者は一人でんおらんやつたて。

親孝行な息子も、なおうでしたばつてん、どがんとしたっちゃあ出来んもんじゃ、こっそい、納屋に隠れとつ父親に、「灰で縄ばのうて来た者は、侍にやつて言うお触れのあつたけん、なおうでしたばつてんどがんとしたっちゃ出来ん。どがんとすきよかろうか。」て聞いたぎ、父親が、「そりゃあ、縄は塩水につけてから燃やすぎよか。」と、教えてくれたて。

息子は、父親に教えてもらうたごと、縄は塩水につけてから燃やしたぎ、きれいか灰の縄の出来上つたて。「こりゃあ、ゆう出来た。こいでおりゃあ侍にならるつ。そして親父にも楽させらるつ。」と、喜んでお城に持つて行つたて。

殿様は、「どっから灰の縄の作り方は聞いて来たじやろうか。ひょっとして、あいつの家には、他藩の問者のおりゃあせんやろうか。」と、孝行息子の家は、捜せんさつたて。そいぎ、爺捨山に捨てんで隠しとつた父親から、灰の縄の作り方は習うたという事は知って、「こがんと知恵のあつ年寄りば、捨つぎいかん。」と、そいからは

爺捨てば、やめさせんさつたて。

葛蒲 佐保 伊勢松
(当時八十八才)

出典 富士町の民話40頁

イベント情報

◆熊の川温泉まつり（湯の原）
7月30日 日曜日

6・7月の行事予定

6月

- ◆富士町内一斉清掃
- ◆男子バレーボール大会（体育協会）15・16日 木・金曜日
- ◆剣道大会（体育協会）17日 土曜日
- ◆サマーナイトハイキング（体育協会）24日 土曜日

7月

- ◆大般若会（下無津呂）
- ◆百万遍（須田）
- ◆八坂神社 祇園さん（杉山）
- ◆ソフトバレーボール大会（体育協会）6・7日 木・金曜日
- ◆野球大会（体育協会）9日 日曜日

※行事につきましては順不同、日程の変更があります。ご了承ください。

みんなの声

皆さんからのお声をお待ちします。掲載できるものであれば、どんどん載せていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

幸報ふじ事務局

次号『幸報ふじ』は
7月下旬の発行予定です。

『幸報ふじ』は、インターネットでも閲覧・ダウンロードができます。
ウェブサイト <http://www.smile-e.org/kohoufujii.html> に掲載しています。